

# 1. 弘法の霊水

(大津町)



昔、弘法大師御巡磴錫の際、土民に水を乞うたが、誰も与える者がなく、やむなく村はずれの地で錫杖で地を掘ったところ清水が湧き出たという伝説があります。

藩政時代の末期、加賀中納言前田齊泰卿が能登巡行の際、この水を献上したところ、賞味せられ「きく水」の名をくださったといわれています。

弘法の水の出所に堂を建てて弘法像を安置し毎年6月21日弘法会が真言宗によって行われています。